

製品安全データシート(MSDS)

1. 製品名及び会社情報

製品名 : ノイズプロテクトスナップタイプ(KATS)
会社名 : 興和化成株式会社
住所 : 〒473-0902 愛知県豊田市大林町8-20
担当部門 : 管理部 品質保証課
電話番号 : 0565-26-4880
FAX番号 : 0565-27-4122
緊急連絡先 : 本社営業部 電話番号052-821-7710
発行日 : 2016年2月3日

2. 組成成分情報

単一製品・混合物の種類 : 混合物

化学特性 : ポリ塩化ビニールを主成分とする混合物

化学名 : シート部

難燃性ポリ塩化ビニール+アルミ

嵌合部

ポリアセタール樹脂

その他

すずメッキ銅線

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性

有害性 : 通常取り扱いでは有害性は極めて低い。
溶融や乾燥時、又は燃焼時は発生するガスは目、皮膚、呼吸器を刺激する可能性がある。

環境影響 : 不法投棄等せず、適切に廃棄すれば、環境に影響を及ぼす恐れはないと思われる。

物理的及び化学的危険性 : シート部

高温で長時間過熱または燃焼により、有害な塩化水素ガスが発生する。

嵌合部

高温で長時間過熱または燃焼により、ホルムアルデヒドが発生する。

4. 応急措置

皮膚に付着した場合 : 溶融物または高温物の場合は、直ちに清浄な水で冷やす。
皮膚上で固まった樹脂は無理にははがさず、医師の診断を受ける。また、火傷があれば医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 出来るだけ吐き出し、異常を感じるようであれば医師の

- 診断を受ける。
- 目に入った場合 : 溶融物または高温物の場合は、直ちに清浄な水で冷やすと同時に、洗浄し、コンタクトレンズを装着していれば固着していない限り外し、医師の診断を受ける。通常の固体の場合は直ちに清浄な水で洗浄する。異常を感じるようであれば医師の診断を受ける。
- 吸入した場合 : 固体は吸入の可能性はないが、高温溶融樹脂から発生するガスを吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移動する。咳、その他の症状が出た時は、医師の診断を受ける。
5. 火災時の措置
- 消火剤 : 水、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素
- 消火方法 : 火元の燃焼源を断ち、消火作業は可能な限り風上から行う。燃焼又は恒温により、塩化水素ガス、一酸化炭素の有害なガスの発生が考えられるため、呼吸保護具を着用する。
6. 取り扱い及び保管上の注意
- 取り扱い : 作業エリアでは火気使用を禁止し、静電気衝撃火花等による着火源が生じないように注意する。
直接口に入れない。
摩擦等により、静電気を発生するため、静電気ショックや静電気障害に注意する。
室温では安定であるが、高温では分解し塩化水素ガス、一酸化炭素の有害なガスが発生するので過剰な過熱はしない。
塩ビ層には可塑剤を含んでおり、別のフィルム等に直接接触すると可塑剤が移行し、汚染する事があるので注意を要する。
- 保管条件 : 火気や熱源より遠ざけて保管する。
高温になる場所、直射日光、急激な温度変化、水濡れを避け屋内で常温で保管する。
静電気による汚れが付着しやすいので出来るだけダンボール箱等に入れておく。
7. 物理的及び科学的性質
- 外観 : 嵌合用ホック付きシート（固形物）
- 色 : 黒色
- 沸点 : なし
- 融点 : 顕著な融点はない、100～150℃で次第に柔らかくなる。
- 比重 : 1.26（※塩化ビニル樹脂単体データ）
- 溶解性 : 水には不溶、ほとんどの有機溶剤には不溶であるがテトラヒドロフラン、シクロヘキサノン、ジメチルホルムアミドに可溶。

8. 廃棄上の注意 : 産業廃棄物として、関係法規に基づき埋め立て処分する。
焼却処分する場合、排ガス処理装置付き焼却設備を使用すること。(850℃以上)
9. 輸送上の注意 : 取り扱い及び保管上の注意の項での記載に従うこと。
: 転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を
確実に行う。
10. 適用法令
- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 消防法 | : 指定可燃物・合成樹脂類 (指定数量 3000) |
| 廃棄物処理及び
清掃に関する法律 | : 産業廃棄物 (廃プラスチック類) |

その他

記載事項は、現時点で入手できる資料・情報・データに基づき作成しておりますが、その内容の厳密性について責任を負うものではありません。また注意事項は通常の手配の場合には用途、用法に適した安全対策を施してご利用下さい。